

メインテーマ：
日本で一番安全な街にしよう

テーブルNo: 6

ファシリテーター: 丸田哲也

安全なまちってどんなまち？

- 防災
 - 災害を防ぐ
 - 地震が少ない、津波が来ない町にしたい
 - 火事が起きない、すぐ消火される
 - 避難できる場所がある
 - 防災防犯の知識・知恵がある
- 防犯
 - 海外旅行者が安心して旅行に来るまち
 - 夜間でも安心して出歩ける街
 - 犯罪のない街、あいさつの多い街、泥棒がいない街(鍵を開けていても安心)、不審者がいないまち
 - 明るい場所が多い、夜暗くない、電話がどこでもつながる
 - ご近所さんと仲良し
- 交通安全
 - 子供の死亡事故が少ない
 - 交通事故が起きない
 - 自動車専用道路が多い街、道幅の狭い地域が少ない街、歩道が整備されている街
 - 交通マナーが良い
 - せかせかしている人が少ない →みんなのんびりゆったり
- その他
 - 飲食物が安心して口にできるまち
 - 水が飲める街
 - カラスが少ない
 - 熊・鹿がでない

1. 通行量を減らそう活動

✓ 課題:

そもそもとして車の通行台数を減らせば交通事故の件数を減らせる。

✓ 課題を解決するアイデア:

道路別の通行量、事故発生件数を把握して、迂回路の設定など対策を考える。

ノーマイカーデー、ノーマイカーウィークを通じて自家用車削減。

✓ 必要なデータ(それはどこが持っているか):

道路の事故発生箇所情報(警察署)

道路別の通行量(道路管理者:国、島根県、松江市)

自動車の保有台数(運輸局)

✓ その他

携帯電話のGPS情報、カーナビ等から道路の通行量をきめ細かく把握できないか。

2. みんなで道路台帳を見て考える

✓ 課題:

地域のバリアフリー、歩道の拡幅分離等々を検討するとき、住民の意見を反映したい。

✓ 課題を解決するアイデア:

島根県: まっぷon島根で道路台帳附図は公開済み。

この情報を住民に提供して、住民からの要望・合意形成に活用できないか。

✓ 必要なデータ(それはどこが持っているか):

道路台帳附図(道路管理者: 国、島根県、松江市)

✓ その他

住民と行政との適切なコミュニケーション: 陳情大会ではないやり方はあるのか。

→「事実」に基づく情報でのコミュニケーション。

→道路の情報だったら、「道路台帳」をベースに議論できないか。そして現地を見て、お互いに対策を考える。行政にお任せではないやり方を模索する「オープンデータ」へ。

→権利関係で×××も問われるけれど。

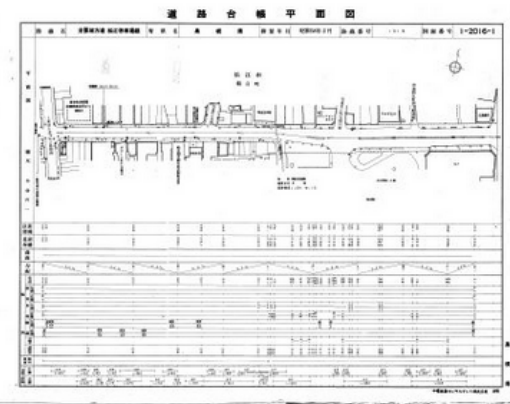


地図 情報 凡例 検索 計測

◀前画面 次画面▶

路線番号 県道22号線
 路線名 松江停車場線
 管轄事務所 松江
 現旧区分 現道
 重用 なし

TIFFデータダウンロード PDFデータダウンロード



3. 一方通行避けるナビ

✓ 課題:

交通事故を減らしたい
危ない道は通りたくない

✓ 課題を解決するアイデア:

ボタン1つでタイムリーな道路情報を提供する
一方通行道を避けるナビを作る

✓ 必要なデータ(それはどこが持っているか):

道路台帳、一方通行道情報(道路管理者)
車の位置情報、渋滞情報(VICS、プローブ、GoogleMaps)
→国、市町村、全部のデータが必要!

✓ その他

運転初心者、松江市一見さんも安心安全に運転ができる

4. 全バス路線ロケーションシステム

✓ 課題:

大雪の日に40分もバスが遅れた。

寒い中待たされた上に、授業に遅刻して欠席扱いになった！

あるときはテストに間に合うためにタクシーで2000円も使う羽目になった！ こんなことが数えきれないほど！

✓ 課題を解決するアイデア:

いまバスがどこにいるかがわかる

何分遅れるかがわかる

✓ 必要なデータ(それはどこが持っているか):

バス停の時刻表(バス会社)

各バス路線のルート表

バスの位置情報(バス会社)

✓ その他

バスのために被害を被る学生を減らせる